

研究課題名	びまん性脳損傷患者における社会復帰と神経心理検査値についての研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院、東京医科歯科大学大学院
研究責任者	所属 脳神経外科 氏名 戸根 修
研究期間	平成 28年 1月 ～ 平成 28年 3月
研究の意義・目的	<p>急性期医療によって救命を果たせた頭部外傷患者が、家庭に帰還できるか、さらには家庭内・社会内での生産的役割に復帰できるかは、若年症例が多いこともあり、非常に大切な問題です。運動機能障害を免れても、高次脳機能障害が大きな妨げになることは稀ではありません。</p> <p>高次脳機能障害の診断・評価の手段として神経心理学的検査が用いられる機会は多いものの、どの様な検査項目を施行すると有用であるかは不明なままです。また受傷早期では意識障害や健忘の影響があり、適切な検査時期も不明です。受傷後早期の神経心理学的検査の有効性が明確になれば、病初期から高次脳機能障害を評価し、社会復帰への適切なりハビリテーション計画をたてることが可能になります。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>本研究は、平成18年12月から平成22年3月の間に、頭部外傷で武蔵野赤十字病院に入院し、神経心理学的検査を受けた患者さんが対象となります。日常診療で行われた検査・治療の結果を、臨床記録から解析する研究で、追加の治療や検査は行いません。研究対象とする臨床データには性別、年齢、来院時意識障害の程度、外傷後健忘の持続時間、復職の可否、神経心理検査などを含みます。神経心理学的検査とは、質問紙法で行った以下の検査、すなわち知能検査 (Wechsler Adult Intelligence Scale-Revised)、記憶検査 (Wechsler Memory Scale-Revised)、注意検査 (Trail Making Test、Word Fluency Test)、遂行機能検査 (Wisconsin Card Sorting Test)等です。</p> <p>患者さんの個人情報、調査結果を解析する段階で匿名化され、研究担当者以外の第三者に公開されることはありません。匿名化されたデータについて統計学的解析を行い、復職と神経心理学的検査値の関係性について検討します。</p>
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	個人情報は調査結果を解析する段階で連結可能匿名化をします。
問合せ先	<p>当研究にご自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経外科 氏名 戸根 修</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>